

特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成19年10～12月)のポイント

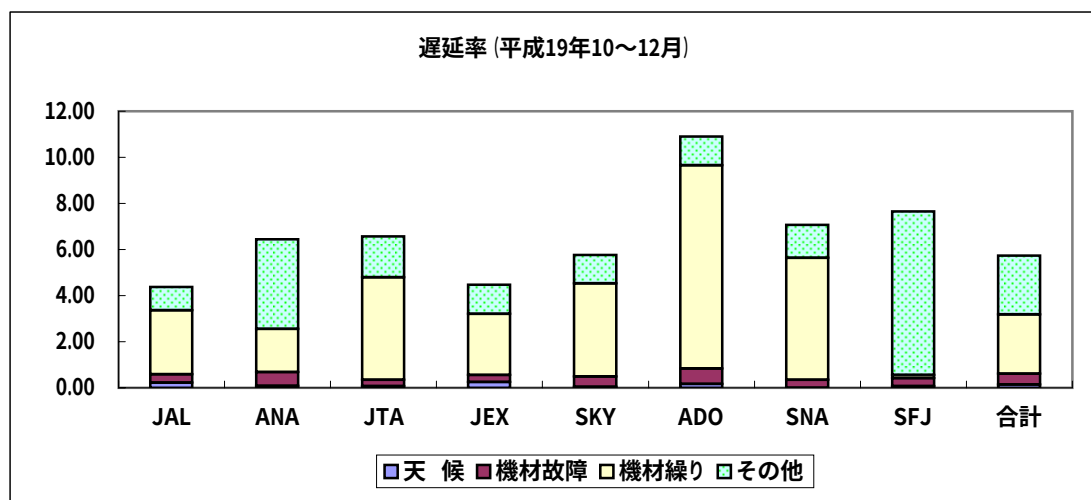
※日本航空(日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空、ジャルエクスプレス、スカイマーク、北海道国際航空、スカイネットアジア航空及びスターフライヤー

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率(平成19年10月～12月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
5.73%	6.43%	0.70ポイント減少

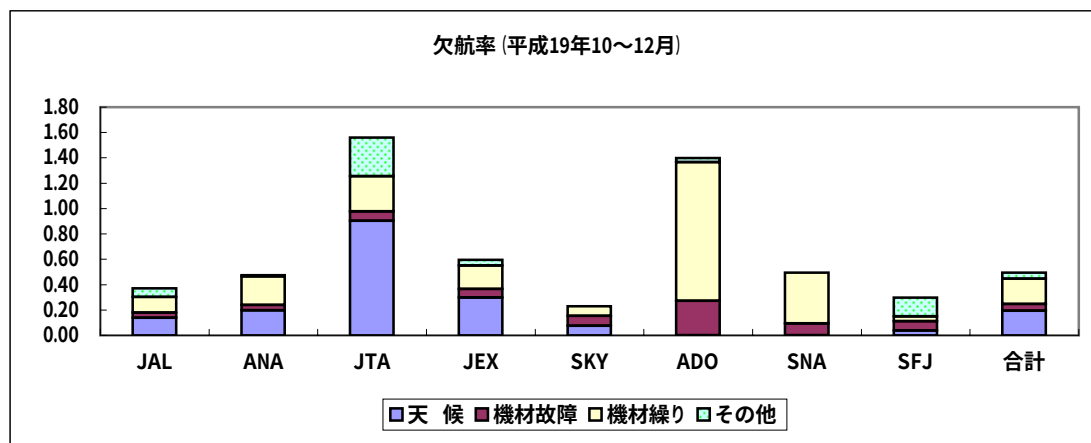
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成19年10月～12月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0.49%	0.74%	0.25ポイント減少



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績 (平成19年10月～12月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	900km	895km	0.6%増
輸送人員	2347万9082人	2427万3484人	3.3%減
輸送人キロ	211億2294万人キロ	217億3151万人キロ	2.8%減
旅客収入	3657億1百万円	3611億20百万円	1.3%増
輸送人員あたり 旅客収入	15.6千円	14.9千円	4.7%増
輸送人キロあたり 旅客収入	17.3円	16.6円	4.2%増

(2) 路線別データ (平成19年10月～12月)

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位 東京＝札幌	234万2607人
2位 東京＝福岡	214万4954人
3位 東京＝大阪	152万2337人
4位 東京＝那覇	135万1391人
5位 東京＝広島	63万7859人
全 路 線	2343万4577人

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位 中部＝函館	85.2%
2位 広島＝那覇	81.2%
3位 松山＝札幌	80.7%
4位 成田＝大阪	78.4%
5位 東京＝岡山	76.9%
全 路 線	64.6%

下位5路線は次のとおり。

1位 札幌＝利尻	16.4%
2位 札幌＝稚内	22.3%
3位 大島＝八丈島	25.8%
4位 中部＝福島	29.2%
5位 関空＝高知	29.7%
全 路 線	64.6%

3. フレックストラベラー制度 (※) に関する情報

平成19年10～12月フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合 (1万人あたり) が高かった上位3社は次のとおり。

(※) オーバーセールズ (搭乗手続きにきた予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること) の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	全日本空輸	0.16人	0.13人
②	-	-	-
③	-	-	-
	全社平均	0.08人	0.06人